

データで見る経済の動き

浜松地域の経済動向

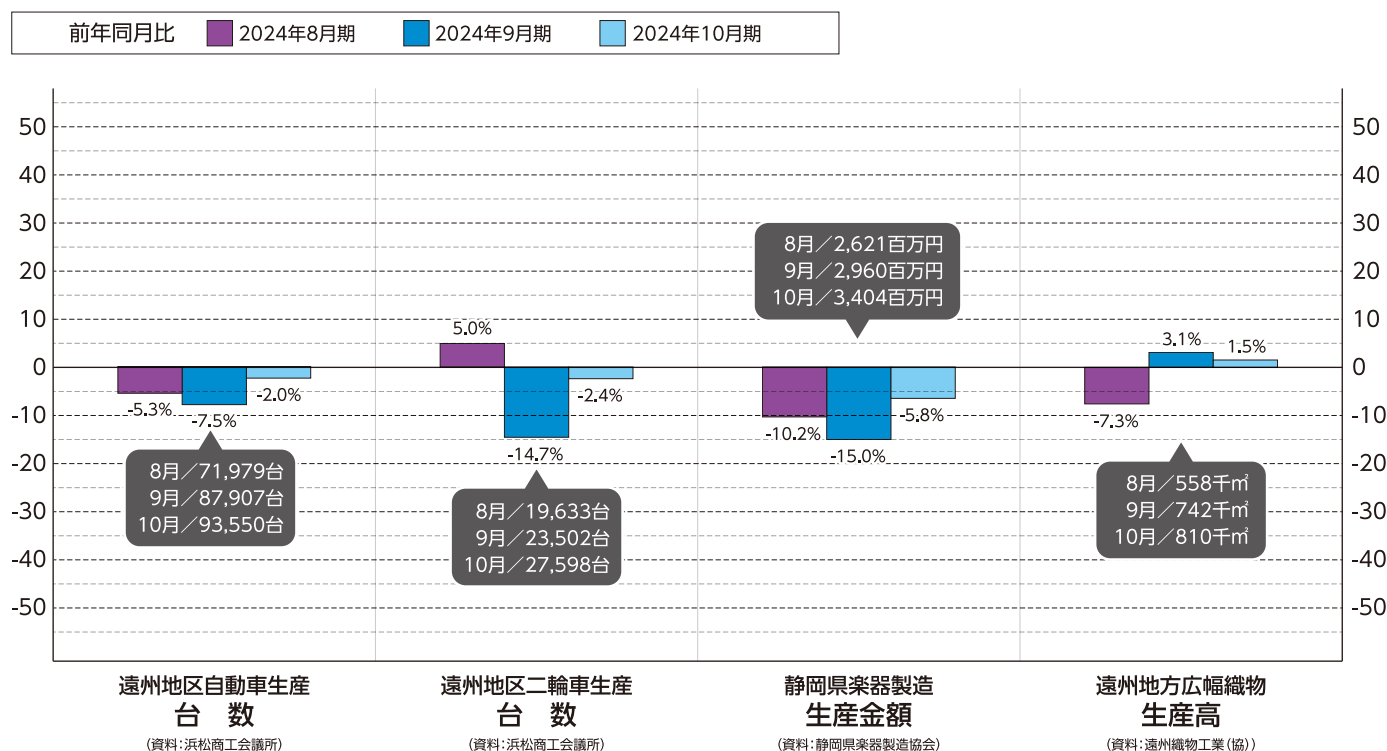
2024年
10月を中心に

製造業は自動車生産台数が3カ月連続で前年比減少。

非製造業はタクシーの乗車人員が11カ月ぶりに増加した。

自動車の10月の生産台数は、国内向けは増加したが輸出向けは3カ月連続で減少した。二輪車は2カ月連続で前年同月を下回り大型バイクの減少が目立つ。楽器は中国経済の低迷によりピアノの生産が減少している。繊維は2カ月連続で前年同月を上回った。タクシーは運転手の増加に伴い、乗車人員が11カ月ぶりに前年比プラスとなった。浜松市のインバウンド補助金が7月末で終了したことでホテルの稼働率は低調に推移し、外国為替は2カ月ぶりに円安となって150円間近となる。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年10月における遠州地区の自動車生産台数は前年比2.0%減の9.3万台となり、3カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は5.3%増、小型四輪車は17.7%減、普通自動車は4.8%減となっている。国内向けは2.5%増で3カ月ぶりの増加、輸出向けは16.4%減で3カ月連続の減少となっている。輸出もしていた小型車の生産終了が影響している模様。

二輪車



2024年10月における二輪車生産台数は前年比2.4%減の2.7万台となり、2カ月連続で前年同月を下回った。国内向けは10.2%減、輸出向けは1.4%減でいずれも2カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下83.3%増、51cc～125cc以下1.8%増、126cc～250cc以下17.3%増、生産台数の大半を占める251cc以上は10.4%減と3カ月連続で減少した。

楽器



2024年10月における楽器生産金額は前年比5.8%減の34.0億円となり、5カ月連続で前年同月を下回った。中国経済の低迷によりピアノの販売が低調に推移し、ピアノ生産高は33.3%減と3カ月連続で30%以上の減少となった。その他の分野別生産高は、電子・電気ピアノ3.9%減、電子オルガン18.3%増、管楽器17.4%増となっている。

繊維



2024年10月の生産高は前年同月比1.5%増の810千㎡となり、2カ月連続で前年同月を上回った。アパレルメーカーなどから直接受注する自販型の工場では、フル稼働状態であり、安定した受注を確保している。一方、遠州産地の8割を占める委託生産(下請け型)の工場では、受注が芳しくなく、2極化している。また、インスタなどのSNSを活用した展示会のブースは活況を呈するなど、情報発信力も重要になっている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年10月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比0.8%増の30.1万人となった。タクシー運転手の増加に伴い、乗車人員が11カ月ぶりに前年比プラスとなった。運賃改定の効果が一巡したが、乗車人員が増加したことで増収となった。

観光

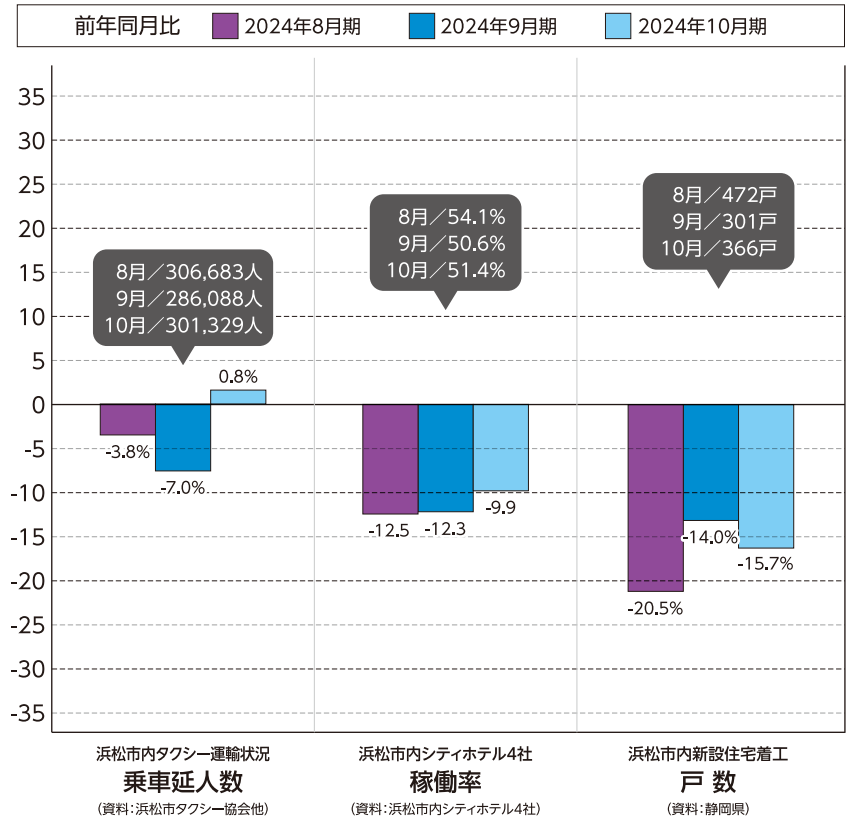


2024年10月の浜松市内ホテルの稼働率は51.4%であり、3カ月連続で前年比マイナスとなった。浜松市のインバウンド補助金が7月末で受付終了となったため、インバウンドの団体客が減少し、ホテル稼働率も低調となっている。

住宅着工



2024年10月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比15.7%減の366戸となり4カ月連続の減少となった。内訳をみると、持家は175戸、貸家105戸、分譲住宅86戸で、前年同月と比較すると、持ち家が16戸の増加、貸家が13戸、分譲住宅が71戸の減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年10月の有効求人倍率は前年同月比0.13ポイント下降の1.17倍となり、前月との比較では0.01ポイント上昇した。全国(1.25)との比較では0.08ポイント下回っているが、静岡県(1.12)との比較では0.05ポイント上回った。コロナ禍以降、有効求人倍率は上昇傾向にあったがコロナ前の2019年10月(1.44)との比較では0.27ポイント下回っている。

倒産企業



2024年10月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は35件、金額は3.3億円となり、それぞれ3カ月ぶりに前年同月を上回った。コロナ禍の影響を大きく受けた飲食業などは回復が遅れ、依然として厳しい状況にある。さらに、原材料費やエネルギー価格の高騰が企業の収益を圧迫し、資金繰りを悪化させている。

ガソリン価格



2024年10月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり174.9円で前年同月比では2.8円の減少となり、3カ月連続で前年同月を下回った。ガソリン補助金により175円程度をキープしているが、今後補助金がなくなるとガソリン価格の上昇により消費や物流に与える影響は大きい。

外国為替



2024年10月の外国為替は1ドル149.63円で、前年同月比0.10円の上昇となり、円安となった。前月との比較でも6.25円上昇し、2カ月ぶりに円安となり、再び150円圏近となった。

